

【令和元年度水産イノベーション対策推進事業費補助金 参考事例集】

参考事例 1

申請者	法人	取組分野	<input checked="" type="checkbox"/> 水産振興 <input type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
業種	水産食品加工業		
事業テーマ・目標	クッキングスクールと連携した商品プロモーションによる、なまり節の認知度向上及び販路拡大		
新しさのポイント	クッキングスクールの特長を活かしたレシピ開発と消費者へのダイレクトマーケティングの実施		
事業費	事業費 880,000 円（補助金充当額 500,000 円）		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クッキングスクールと連携し、なまり節の新たなレシピを考案</li> <li>・レシピカードを1万部作成し、首都圏と県内のスタジオに配架</li> <li>・同スクール主催のイベントでプロモーションを行い、試食及びアンケート調査を実施</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで卸売業者や小売業者への営業活動に力を入れてきたが、クッキングスクールとのコラボレーションにより、新たなレシピの開発とともに、若い世代の消費者に対して直接アプローチすることができた。</li> <li>・同スクールのイベントでの商品プロモーションにより、首都圏での認知度向上（SNSによる情報拡散）につながり、販路開拓に有益な情報が得られた。</li> </ul>		

参考事例 2

申請者	法人	取組分野	<input checked="" type="checkbox"/> 水産振興 <input type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
業種	水産加工・卸・小売業		
事業テーマ・目標	海藻アカモクの商品化による、新たな地域特産品の開発及びサプライチェーンを担う関係事業者の新たな収益源の獲得		
新しさのポイント	未利用水産資源の有効活用による新たな地場産業の創出		
事業費	事業費 691,698 円（補助金充当額 421,900 円）		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・由比地区地先に生育するアカモクの商品化</li> <li>・加工方法の確立、試作品の製造</li> <li>・展示会でのプロモーション</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・付着生物の除去方法を確立するとともに、加工用チョッパーを導入し、効率的な製造工程を開発した。</li> <li>・フードコーディネーターの助言を得ながら、試作を繰り返し、商品規格を決定した。</li> <li>・展示商談会でのプロモーションにおいて、商品規格（内容量、味付け、想定売価）を客観的に評価でき、今後の商談につながる反応も得られた。</li> </ul>		

### 参考事例3

申請者	個人	取組分野	<input checked="" type="checkbox"/> 水産振興 <input type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
業種	水産加工業		
事業テーマ・目標	製品PRのためのWEBサイト構築による、営業活動の強化及び新規顧客の獲得		
新しさのポイント	インターネットを活用した初めての広報活動		
事業費	事業費 763,000 円 (補助金充当額 466,666 円)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・製品PRのため、WEBサイトを構築</li> <li>・イベント販売等の情報発信 (SNSと連動)</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまでは、既存の取引先への販売が中心であり、また、人手不足の影響もあって、対外的な宣伝活動を行ってこなかったが、WEBサイトを構築したことにより、新たな営業ツールを獲得することができた。</li> <li>・SNSによる情報発信と連動させ、視覚的に充実した内容にすることで、焼津の特産である佃煮文化を広く紹介することができた。</li> </ul>		

### 参考事例4

申請者	個人	取組分野	<input type="checkbox"/> 水産振興 <input checked="" type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
業種	アサリ採貝、遊漁船		
事業テーマ・目標	人工増殖技術の確立による浜名湖のアマモ場の再生		
新しさのポイント	漁業者グループの自主活動によるアマモ場再生の取組		
事業費	事業費 216,602 円 (補助金充当額 133,094 円)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浜名湖内のアマモ場が衰退し、自然回復は当面見込めない状況を踏まえ、アマモの人工増殖技術の確立・習得を目指す。</li> <li>・先進地視察</li> <li>・湖産アマモからの種の採取、苗作り</li> <li>・湖内での苗の移植実験</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神奈川県におけるアマモ場再生の先進事例を視察し、アマモの人工増殖技術に関する情報収集を行った。</li> <li>・浜名湖産のアマモ及びコアマモから種 400 粒を採取し、購入した種 5,000 粒も加えて、粘土貼付法及び麻製播種シート法の2種類の方法を用いて、苗作りを行った。</li> <li>・自作した苗及び自生しているアマモ群落からの間引き苗計 1,000 株を湖内に設定した再生場に移植し、その後の経過を確認した。</li> <li>・漁業者自身が人工増殖技術を習得することにより、アマモ場の衰退に対し、地域でのリカバリー体制を整えることができた。</li> </ul>		

## 参考事例5

申請者	法人	取組分野	<input type="checkbox"/> 水産振興
業種	内水面漁協		<input checked="" type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
事業テーマ・目標	佐鳴湖における築瀬の設置による生息環境の改善		
新しさのポイント	地元産の資材を用いた水中生物の人工産卵・生息場の整備		
事業費	事業費 987,399 円（補助金充当額 599,999 円）		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・佐鳴湖に生息する魚やエビ類などの生物が減少している可能性があり、天然ウナギの水揚げも落ち込んでいる状況を踏まえ、人工的な産卵・生息場を整備する。</li> <li>・専門家による助言・指導</li> <li>・築瀬の整備（外周保護柵及び着卵材の設置）</li> <li>・整備後の定期的なモニタリングによる生物増集効果の確認</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・専門家の助言を得ながら、築瀬の整備及びモニタリング計画を検討した。</li> <li>・佐鳴湖西岸に 3,200 m<sup>2</sup>の築瀬を整備した。なお、外周保護柵は地元の真竹を、着卵材は地元の公園で伐採された枝葉を使用した。</li> <li>・12月下旬、1月中旬及び下旬の計3回、水中生物のモニタリングを行い、築瀬の整備前と比べて生物の増加を確認することができた。</li> </ul>		

## 参考事例6

申請者	法人	取組分野	<input checked="" type="checkbox"/> 水産振興
業種	遠洋一本釣りカツオ船		<input type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
事業テーマ・目標	インターネット通販を活用した自社ブランド商品の一般消費者向け販売の強化		
新しさのポイント	ブランドコンセプトの設定及びITインフラの整備によるインターネット通販の開始		
事業費	事業費 858,000 円（補助金充当額 500,000 円）		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社ブランドの遠洋一本釣り冷凍カツオの品質の高さを消費者に直接訴求するため、ブランドコンセプトを新たに設定し、コンセプトに合わせた商品パッケージを開発</li> <li>・ブランドコンセプトを明確に伝え、一般消費者向けに直接販売できるインターネット通販を整備</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠洋一本釣り冷凍カツオの品質の良さ、安全性等を訴求ポイントとして、付加価値を最大化させるブランドコンセプトを設定したことにより、ブランドイメージが向上した。</li> <li>・ブランドコンセプトに合わせて商品のパッケージデザインを新たに開発するとともに、インターネット通販の開始によって販売チャネルを強化することができた。</li> </ul>		

### 参考事例 7

申請者	法人	取組分野	<input checked="" type="checkbox"/> 水産振興 <input type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
業種	水産加工業		
事業テーマ・目標	真空パックの導入による賞味期限の長い干物商品の開発（ロングライフ化）		
新しさのポイント	ロングライフ商品の開発と安定生産による製造業務の平準化		
事業費	事業費 1,080,000 円（補助金充当額 500,000 円）		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自社のこだわりである消費者への訴求力の高い「無添加（酸化防止剤不使用）」製品は賞味期限が短いため、真空パック設備の導入により、賞味期限を大幅延長したロングライフ商品を開発</li> <li>・冷凍保存試験による賞味期限や製造工程の検討</li> <li>・ロングライフ商品の安定生産による製造業務の平準化</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「無添加」という訴求ポイントと「ロングライフ」という商品特性を両立させた新商品を開発した。</li> <li>・ロングライフ商品を安定生産することによって、これまで繁閑差によって生じていた不具合（繁忙期は人手不足、閑散期は人余り）が解消され、製造業務の平準化が図られた。</li> </ul>		

### 参考事例 8

申請者	法人	取組分野	<input checked="" type="checkbox"/> 水産振興 <input type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input type="checkbox"/> 人材確保
業種	業種別組合		
事業テーマ・目標	貝殻粉砕機の導入による組合独自のカキ殻の有効利用方法の確立		
新しさのポイント	カキ殻の自己粉砕処理による処分コストの低減及び粉砕殻の収益化		
事業費	事業費 1,645,448 円（補助金充当額 1,000,000 円）		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで、組合員から引き取ったカキ殻の処分を業者に依頼していたが、処分前の一時保管や運搬費などのコストが組合経営を圧迫していることから、貝殻粉砕機を導入し、殻を自己処理する。</li> <li>・粉砕殻を農家向けの肥料や魚礁素材として販売し、収益化を図る。</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・粉砕機を導入し、カキ殻を 17.1 トン処理した。</li> <li>・粉砕殻を農家に無償提供し、肥料として使用してもらったところ、使い勝手が良いと好評であった。（以前は未処理の殻を販売）</li> <li>・粉砕殻を使用した魚礁（シェルナース）を 1,080 基（@400 円/基）販売した。</li> </ul>		

参考事例9

申請者	法人	取組分野	<input type="checkbox"/> 水産振興
業種	飲食料品卸売業		<input type="checkbox"/> 水産資源の管理・増殖 <input checked="" type="checkbox"/> 人材確保
事業テーマ ・目標	筋力サポート装置の導入による従業員の作業環境の改善		
新しさの ポイント	従業員の身体的負担の軽減による離職対策		
事業費	事業費 400,400 円（補助金充当額 242,666 円）		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・加工原料や製品を冷蔵倉庫で保管する業務を行っており、重たい荷物の入出庫作業を人力で対応している部分があることから、筋力サポート装置を導入し、従業員の作業負担の軽減を図る。</li> <li>・コンテナへの積込み、荷下ろし作業の効率化を図る。</li> </ul>		
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筋力サポート装置を用いた作業では、障害を受けやすい腰への負担が明らかに軽減されることを確認した。また、作業スピードの向上効果も得られた。</li> <li>・人材の安定確保は、営業冷蔵庫の安定的な運営に欠かせない要素であり、顧客からの信頼にもつながっている。</li> </ul>		